

おくりがなプリント はってん①(て・たの かたち)

なまえ

小2/うごく ことばの て・た形(4/5)

ひづけ

形が かわった ことばの おくりがなの 書き方

れい かみを まるめて すてる。

れい ボタンを はずした。

丸 めて

外 した

考え方

れい1

れい2

- ① もとの かたちにもどす
- ② もとの かたちで おくりがなが はじまる ところを 見つける
- ③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く

まるめる

はずす

↓
丸める

↓
外す

↓
丸めて

↓
外した

線の ことばの かたちに なるように、かん字の あとに おくりがなを 書こう。

(1) こわれた とけいを なおして みる。

(2) ここに なまえを かいて ください。

直

書

(3) みんなで やまみちを ある いた。

(4) つなを いっしょに ひいて いる。

歩

引

(5) きノウ おかしを かった。

(6) こうえんを みんなで はしって いる。

買

走

(7) はさみで かみを きった。

(8) えきで ともだちと あって から いく。

切

会

(9) よるの そらで ほしが ひかった。

(10) しずかに ほんを よんで いる。

光

読

(11) ひるごろ あめが やんだ。

(12) おじいさんに こまを おそわった。

止

教

できたら:こたえを 声に 出して 読み、線の ことばと 同じ 読みになるか たしかめよう。



形が かわった ことばの おくりがなの 書き方

れい かみを まるめて すてる。

れい ボタンを はずした。

丸 めて

外 した

考え方

れい1

れい2

① もとの かたちに もどす

まるめる

はずす

② もとの かたちで おくりがなが はじまる ところを 見つける

丸める

外す

③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く

丸めて

外した

線の ことばの かたちに なるように、かん字の あとに おくりがなを 書こう。

(1) こわれた とけいを なおして みる。

(2) ここに なまえを かいて ください。

直 して

(もと：直す)

書 いて

(もと：書く)

(3) みんなで やまみちを あるいた。

(4) つなを いっしょに ひいて いる。

歩 いた

(もと：歩く)

引 いて

(もと：引く)

(5) きノウ おかしを かった。

(6) こうえんを みんなで はしって いる。

買 った

(もと：買う)

走 って

(もと：走る)

(7) はさみで かみを きった。

(8) えきで ともだちと あって から いく。

切 った

(もと：切る)

会 って

(もと：会う)

(9) よるの そらで ほしが ひかった。

(10) しずかに ほんを よんで いる。

光 った

(もと：光る)

読 んで

(もと：読む)

(11) ひるごろ あめが やんだ。

(12) おじいさんに こまを おそわった。

止 んだ

(もと：止む)

教 わった

(もと：教わる)

つまずきやすいところ

直て・書て のように、もとの 形で 送る 字まで 落とす まちがいが 多い。

もとの 形を 声に 出して、送りがなの はじまりを たしかめさせます。

採点：線のはんいだけで よい(あとにつづく ことばまで 書いても 送りがなが 正しければ 正)。